結耗録

特1
2024

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』 請求記号 特1-2024

ガラス使用

結耗録序

余自夙齡好遊曰某所有賢者
延頸擧踵而未嘗不贏糧手
千里也乃後値一友人自京來數稱
松菜章先生者徳義甚高分

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

特1—2024

若一飯不忘鉅鹿日月不居時
節如流先生脩然指飯舍設雉
曰夫子順也人孰不曰不慧遺者乎
年間余就羈絆屢以鞅掌
失諸君子唯是忸怩尔無印

罷去遂客京松子勅時〻過
傳居譚其尊翁成章先生猶
得生平愈益慕先生爲人
古昔所謂沈冥之風蜀巖之流
耶何其多能也先生著作

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

之書義平部皆在子家子勅
能覩其志雖云械如百而不若
年必當上梓謂之揚字者
矣業於遇不遇時也何足病
子勅子勅業已刻結耗録然

則屬序不佞余更而讀之義
楛矢萍實玉羊五酉之類
腆不無子遺矣于新博求
物諺乎事可知也已其他諸書
先生終身之勤常然而存

余豈敢贊一辭也

寶曆己卯秋八月

葛陂聖人高峻撰

結耗錄目錄

卷之上

張良草ノ事
年忌ノ事
麝香鼠ノ事
栢子(ハクシ)ノ事
鶉帋(ウヅラカミ)ノ事
清墓ノ事
室町(ムロマチ)川ノ事
矮雞(チヤボ)銀ノ事
容奇(ユキノ)詩ノ事
熊川ノ事
博多金銀器ヲ掘(ホリ)出(ス)事
酒杯銘(サカツキノメイ)ノ事
地生毛(ヲ)事
夕顔墓ノ事

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

鳴瀧（ナルタキ）石ノ事
佛御前ノ事
日光山湖ノ事
月輪（ツキノワ）ノ事
虎丸（コグハン）ノ事
夏禹王社ノ事
塩澤（シホサハ）井ノ事
赤染右衛門ノ事
平氏女墓ノ事
朝日將軍ノ事
阿房宮賦ノ語ノ事
如法寺村火ノ事
東（アツマ）百官ノ事
物川藏人ノ事
鮭（サケ）幾尺ノ事
恐摺（レノブズリ）ノ事
黑灰降（フル）事
花鎭祭ノ事

卷之中
法筐院（ホウキヤウインタフ）塔ノ事
縋（スガル）破風ノ事
甘露并永樂錢降（フル）事
霜ノ雪色紙ノ事
實方墓ノ事
向（ムカフ）大夫ノ事
醍醐（タイゴ）山ノ事
怪（クハイジ）事
鰐蛇（タツイレ）石ノ事
定木（デウギ）ノ刀ノ事
大錢ノ事
駒藥師ノ事
金環食（キンクハンシヨク）ノ事
大森彦七カ事
鳶尾琴（エンビキン）ノ事
三條古鍛冶カ事

国立国会図書館　タイトル『結毛録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

草水油（クサウヅノアブラ）ノ事
法然水ノ事
安宅（アタカ）ノ關（セキ）ノ事
天狗（テング）ノ事
蘘荷（メウガ）絹ノ事
妙傳寺日蓮像ノ事
地神五代年數ノ事
靭（トモ）ノ事
三カ一ノ事
細川頼有墓ノ事
蛇（ジヤ）バミノ事
下妻氏ノ事
梁羊ノ事
喉輪（ノドワ）ノ事
異石ノ事
儲君（チヨクン）ノ事
牛宿ノ事
源氏物語ノ事

蘭願寺ノ事
南園堂金燈籠ノ事
醍醐三怪（クハイ）ノ事
慈忍墓ノ事
金剛山壁書（ヘキシヨ）ノ事
皇史宬（クハウシセイ）ノ事
赤山明神ノ事
布引ノ日ノ事
兼好墓ノ事
蘆手（アシテ）歌繪（ウタヱ）ノ事
關帝（クハンテイ）像ノ事
清水切（キヨミヅキレ）ノ事
戸柄島ノ事
熊坂長半カ事
狹ノ字ノ事
四聲ノ事
二階桒（ニカイクハ）ノ事
辭吐（ジト）ノ事

国立国会図書館　タイトル『結毛録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

主人ノ鬣ノ事
麻疹ノ事

卷之下

源為朝ノ事
神代文字ノ事
ウツホ柱ノ事
タワノ事
池中生綿事
蛙鬪ノ事
安保備前守墓ノ事
篠作太刀ノ事
ヲカ島ノ事
マスホノスヽキノ事
進食ノ字ノ事
舍利降事
玄賓墓ノ事

源義經鎧櫃ノ事
神鴉ノ事
端午ノ池ノ事
兒石ノ事
朅拍子ノ事
晝夜十二時刻ノ事
ボケノ事
叡山山王ノ事
水ノ白拍子ノ事
狹間山土ノ事
日本諸禮ノ事
城樓煙出事
燒鰷ノ事
稲荷命婦狐ノ事
海市ノ事
二月堂ノ事
三折肱ノ事
鞆猿謡ノ事

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

井户茶碗ノ事　晝夜ノ數ノ事
髙巖（タカイハ）ノ事
通計百二十條

結毗録目錄終

結毗錄卷之上

平安　松岡玄達成章著
男　典子敕校

張良草（チヤウリヤウサウ）ノ事
稻若水（タウジヤクスイ）先生（センセイ）云京師（ケイシ）相國寺（シヤウコクジ）慈照院（ジセウイン）ノ緣（エン）長老（チヤウラウ）物語（モノカタリ）ニ
張良草（チヤウリヤウサウ）本名（ホンメウ）嘲弄草（テウロウサウ）ト云（イフ）相傳（アヒツタ）フ相國寺（シヤウコクジ）鳳瑞軒（ホウズイケン）ノ僧（ソウ）
秀周（シウシウ）ト云（イフ）者昔（ムカシ）入宋（ニフソウ）メ其種（タネ）ヲ取（トリ）歸（カヘ）リ菴（アン）ノ後（ウシロ）ニ種（ウヘ）
タリ今人（イマノヒト）誤（アヤマツ）テ張良草（チヤウリヤウサウ）ト呼（ヨ）フ此（ノ）草（クサ）本（トモ）鍾馗（シヨウキ）ト云（イフ）
セリ因（ヨツ）テ鍾馗草（シヨウキサウ）ト云（イフ）ト鍾馗（シヨウキ）ノ墓（ハカ）ニ生

国立国会図書館　タイトル『結毗録 3巻』　請求記号 特1-2024
ガラス使用

矮雞銀之事

京師室町ノ上休齋ノ途子ト云処ニ養林菴ト云禅尼寺アリ其寺ニ矮雞銀ト云物アリ重サ壹錢半許圓ニシテ錢ノ大サノ如シ面ニ矮雞ヲ鑄付タリ宛然トシテ高ク起ル本數百粒有リ今僅ニ十二三粒殘レリ又其寺ニ肥後守加藤清政朝鮮征伐ノ時ノ旗トテアリ此寺清政ノ菩提所ナル故藏メリト

年忌之事

京師相國寺ノ僧瑞溪云一切經ヲ考フルニ年忌ノ事無シ我邦ノ先宿儒法ヲ借テコレヲ為ス而已ト又東見記ニ云櫻町中納言其父少納言信西ノ十三回忌ヲ修セント欲ス其弟僧明遍高野山ニ住セリコレニ不同云我カ佛ノ法四十九日ニシテ止ム年忌ノ事有ルヿヲ聞カスト其事ツイニ止ミタリト

容奇詩ノ事

林祭酒ノ家ヨリ容奇ニ字ヲ題ニシテ諸儒ニ詩ヲ作ラシム皆容奇何物ナルヿヲ知ラス新井白石子七律ヲ賦シテ贈レリ容奇ハ雪ノ萬葉書ナリ因テ日本ノ故事ノミヲ用テ賦セリ其詩ニ曰曾下瓊鉾初試雪、紛紛五節舞容閑、一痕明月茅渟里、幾片落花志賀山、提劍膳臣尋虎跡、捲簾

清氏對龍顏益梅剪盡能留客濟得隆冬無限艱

麝香鼠ノ事

或人云冊後某ノ村ニ異鼠アリ形常ノ鼠ノ如クニシテ色薄ク甚タ香氣アリト余曾テ聞ケリ長崎後藤町ニ此鼠多シ其居ル処常ニ香氣アリト本邦ニテ此ヲ麝香鼠ト呼フ昔遣羅舶来ル時此鼠舟ニ付キ来リ今其種繁育セリト是即チ地志ニ載スル所ノ香鼠也

熊川ノ事

麻浦ノ磁器ハ即チ熊川也熊川ハ朝鮮ノ地名ナリ

栢子ノ事

朝鮮ヨリ海松子ヲ栢子ト書テ来ス海松子ニ栢子ノ名無シ蓋謬リ称ス成ヘシ

博多金銀器ヲ掘出ス事

筑前博多市小路町上濱ノ町人呉竹善三郎ト云者其妻死セリ聖福寺ノ塔頭瑞應菴ヘ葬ス壙ヲ穿ツコト丈許ニメ一ノ壺ヲ得タリ中ニ金虎銀ノ鞘及ヒ銀ノ鋺馬ハアリ重サ貳貫陌ニメ一ノ壺ヲ得タリ中ニ金銀器十數アリ後十九年享保元年ニ其少シ傍ヘ改葬ス壙ヲ穿ツコト丈許ニメ又一ノ壺ヲ

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』　請求記号 特1-2024
ガラス使用

柒拾肆銭貳分許上ニ經歴郭徳潤　行宣政院福建分
院提調官副使側失監客商謝福　花銀肆拾捌両重ト
アリ右通計金參貫陌陸拾貳銭陸分。銀參貫陌肆拾玖
銭玖分ナリ

鶉紙ノ事

古鶉紙ト云モノアリ六條為顯和歌ヲ書レモノナリ日ニ
透メ見レハ鶉ノ文見ユ世ニコレヲ鶉切ト云

酒杯ノ銘ノ事

利休居士酒杯ノ銘アリ云一杯人飲酒。二杯酒飲酒、三杯酒飲人

清墓ノ事

讃岐金毘羅山ニ清墓アリ相傳フ清少納言ノ墓也ト寺
僧祐覺曽テ清少納言ノ歌ヲ夢ムト云ウツヽナキアトノ
シルシヲタレニカハトハレシナレドアカテシモカナ或人云是金
毘羅山ニ非ス安藝ノ一士人ノ家ノ事也ト

地生毛事

寶永五年戊子三月八日午時京師油小路姉小路下ル町
ヨリ出火ノ禁裡仙洞女院中宮東宮新殿准后殿及公
卿九十四家諸侯ノ屋敷二十所寺三百五十神社五所

国立国会図書館　タイトル『結毘録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

東ハ鴨川ヲ限リ西ハ油小路南ハ錦小路半町北ハ一條ニ至ル町數凡四百十七町家數壹万三百四十三軒下賀茂ヘ炎上ス死スル者男五人女六人僧一人山伏二人餘ハ分明ナラス火後処々地ニ白毛ヲ生ス長四五寸許ヲ四五莖ヲ藏ス蓋地中ノ濕氣火氣ト欝蒸ノ生スル也又火氣ニ因ラスメ常ニ生スル処アリ奥州白川ニ一処常ニ長白毛ヲ生スル処アリ取テ筆ニ製スルニ甚佳ナリ土人地一本作野白髪ト云ト按スル博物志ニ云地勞則生毛又按スルニ武后時淮南地生毛宋度宗時地産白毛唐德宗時京師地生毛貞元四年淮南及河南地生毛大和六年蘇州地生白毛漢安帝時地生毛元興三年江陵地生毛義熙三年地生毛同十三年地生毛梁武帝時地生毛大清二年地生毛後齊河清二年滄州及長城之下多生毛

室町川ノ事

京師室町通二條下ル町ニ陰溝アリ町ノ正中ニアリ今石或ハ土ヲ以テ掩ヘリ古ノ室町川ノ殘リシ也山城名跡志ニ室町今無シト誤也

夕顔墓ノ事

夕顔ノ墓京師堺町高辻下ル町西側人家ノ後ニアリ

鳴瀧石ノ事

山城ノ西北ニ鳴瀧ニ砥山アリ砥石ヲ出ス曾テ鳴瀧高雄其山ヲ争ヒ官ニ訟シニ古歌ニ據テ決定シテ高雄ニ属ス古歌ニ

高雄ナル砥トリノ山ノホトヽキスヲノカカタナヲトキスソト鳴ク

按スルニ元ノ戴良カ集ヲ九霊山房集ト名ク其中ニ清瀧研ノ事ヲ出ス

九霊山房集曰、僧闡奉使日本、得清瀧石研、求為銘、銘曰、懿茲研産東夷、為有霊源知所歸、嗟彼世人胡不思

僧闡ハ唐土天寧寺ノ住持祖闡元季明初ノ人ナリ

朝日将軍ノ事

木曾義仲ヲ朝日将軍ト称スルハ将軍ニ任シ久シカラスメ亡ヘリ其榮華朝日ノ如シ久シカラサルヲ以テ時人称セリト壺井氏物語ナリ

佛御前ノ事

加賀小松驛ノ旁邑ニ原ト云村アリ佛御前ノ生レシ処也今ニ佛御前ノ木像アリ黒白ノ二衣ヲ着セシム

阿房宮賦ノ語ノ事

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』　請求記号 特1-2024
ガラス使用

阿房宮ノ賦ニ旦有不能輸來於其間ト云句有ノ字一旦有ト有ニテ句ヲ切ルヘシ俗儒下ヘ属ノ讀ムハ誤也

日光山湖ノ事

下野日光山上ニ湖水アリ天氣晴明ノ時舟ヲ泛テ行ケハ水底ニ往々草樹樓閣人家階壇歴々トメ見ユ是亦地鏡ノ類也

如法寺村火ノ事

越後蒲原郡月岡組如法寺村三百姓庄右衛門ト云者アリ其家ノ圍爐裏ノ傍ニ処石臼ヲ覆ヒ其臼ノ穴ヨリ竹筒ヲ以テ刺入レ発燭ヲ以テサンイ出セハ火忽チ出ツ一邑ノ人毎夜其家ニ来リ集リ紡績舂縄ノコトヲ為ス溝口侯曽テコレヲ怪ミ人ヲメ其処ヲ掘シムルニ一丈四五尺ニ及ヘド何ノ異ナシ但土キワヨリ下ニテヒバリタル筋有ルノミ

劉氏鴻書云蜀伏龍山下地窪若池以火引有聲隱隱出地中少頃炎熾夏月積雨停水則焰生水上水為之沸而寒如故九月水涸則土上有焰如燒人聚而觀之至焚其衣裾

月輪ノ事

山城東福寺ノ邊ニ月輪村アリ禪閤隱室ノ跡今ニ存セリ

世人嵯峨ノ月輪ヲ禪閤ノ隠處ト覚ユルハ誤也

東百官ノ事

東百官ハ鎌倉親王ノ時ニ起レリ相馬将門カ置ク所ト云ハ恐クハ非ナラン

虎丸ノ事

本草綱目ノ序ニ虎丸ノ字アリ按スルニ太平廣記鬼部ニ云東陽郡朱子之□有一鬼恒来其家之兒病心痛鬼語之我為汝尋方云燒虎丸飲即差汝覓大戟與我我為汝取之其家便持戟與鬼鬼持戟去須臾還放戟中庭擲虎丸着地猶暖出濟海記虎丸虎睛也

物川藏人ノ事

物川藏人ハ或人云新捨遺集ニ出タル藤原經尹ナリト

夏禹王社ノ事

京師建仁寺町ニ夷ノ社ト云アリ是蛭子ニ非ス夏禹王ヲ祭レルナリ昔鴨川善ク溢レテ害ヲナス因テ禹ノ廟ヲ建テ祭レリ日本唐土及諸外國ヲ称メ夷ト云故ニ夷國ノ神ト云ヲ後世蛭子ノ社ト為シ也

鮭幾尺ノ事

国立国会図書館　タイトル『結耻録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

古鮭幾尺ト云ハ隻ノ字ノ音ヲ借リテ云タル也ト南湖氏物語ナリ

塩澤井ノ事

塩澤ノ井ハ會津大塩村ニ有リ其村ニ大木アリ其木ノウツロヨリ水流レ出ヅ土人取リテ煮レバ塩トナル俗ニ傳フ昔弘法大師此処ニ来リ法ヲ以テコレヲ為レ一人ノ老女ニ与ヘリト故ニ里人其木ノ傍ニ堂ヲ建テ彼老女ノ木像ヲ造リテ置ケリト

忍摺ノ事

陸奥ノ忍摺ハ古ヘハ山藍ヲ以テスリ付ケ其汁ニテ摺レリ石面平ナリシガ旅人頻リニ来リ摺リ傍ノ田地ヲ蹈損スルヲ以テ今ハ其石ヲ倒メ石面平ナラスト

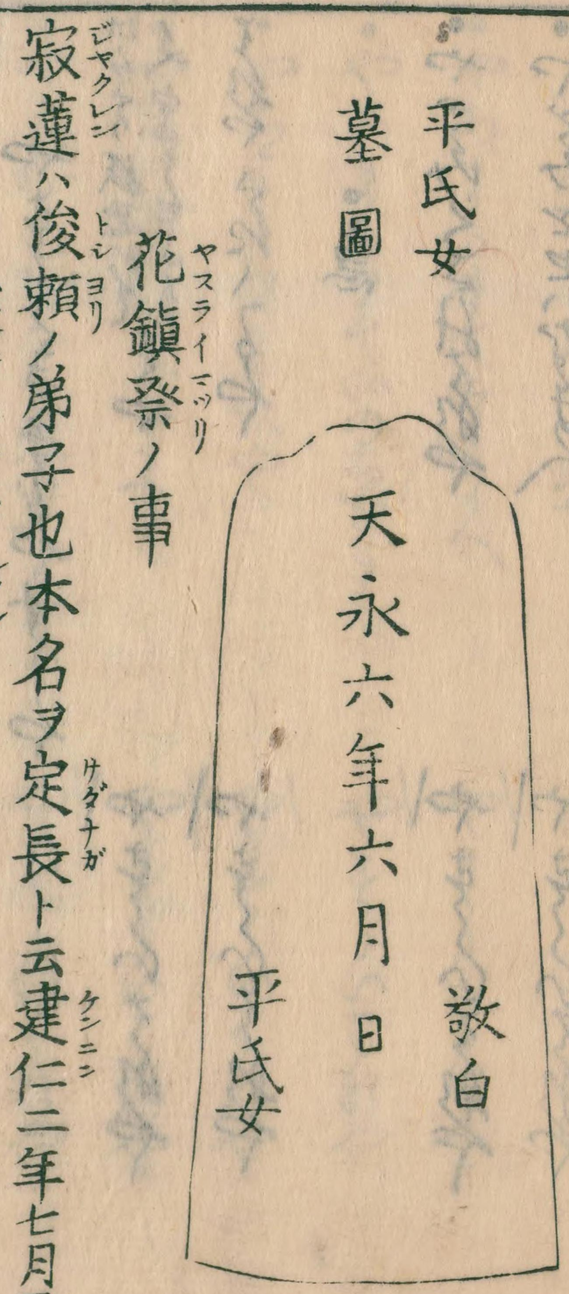
赤染右衛門ノ事

赤染右衛門ノ集一巻アリ其中ニ赤染ハ氏也ト巻末ニ云ヘリ一ニ平兼盛ノ子也ト非ナリ大江匡衡ノ妻也ト有リ非也大江匡衡ノ妻兼盛ヘ再嫁セシナリ其母赤染右衛門ヲ連レテ黒灰降嫁ス

寶永四年十一月三十三日江戸黒灰降ル深サ二寸或ハ四
五寸ニ及ヘリ二十五六日ニ至テ止ム同月二十三日富士山
燃ル事三日十リ

平氏女墓ノ事

信濃飯山ノ領ニ永岩寺ト云禅寺アリ其後山ニ白石アリ高
五尺許平家ノ女ノ墓十リ面ニ左ニ圖セル如ク年月離付アリ
或人ノ云先年飯山領ニ秋山ト云所アリ山林茂リテ數圍アル
樟杉等多シ其山ニ隠家アリテ見出セリ皆平姓ヲ名
乗リ居リシト



平氏女
墓圖

花鎮祭ノ事

寂蓮ハ俊頼ノ弟子也本名ヲ定長ト云建仁二年七月二十日
卒ス京師紫野今宮社司ノ家ニ寂蓮ヤスライ花ヲ詠セシ
歌アリ又三月十日ヤスライ祭ニ躍リ歌ヲ謡アリ俱ニ
寂蓮ノ書也ヤスライ祭ノ日ハ今宮社司ノ家ノ壁間ニヨ

ヲ掛クヤスライ花ハ公事(クシコン)根元(クン)ニ出ル花鎮祭ナリ歌ニ
高雄山アハレナリケルツトメカナヤスライ花ト鼓(ツヾミ)ウツナリ
其日躍(ヲド)リ歌フ謡(ウタ)左ニ記ス

やまゝきまるやすしや
じくたり紙破れて文字うせたり　ミや
それやされこうるや

・急

やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや

・やとみとせハみくらんやまま
・やあまるまてなまへ
・やあまるまていのちとこそ
・やちよはちよろへや
・やこれとれをなまへ
・やこれとのをなうぬのせきと
・やいたしみてなまへ
・やいたしめてちよふる神の
・やみよとのはせんや

やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや
やまゝいたれや

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

特1
2024

・やさけなへこれへ　やさるまろもやさう
・やさけなへこれへ　やひくまろもやさう

迄

やさうことゝひよ・とりこはなりやたとりす
へなりや・よひよさそよひよさそ・ねなま
ましうはやとりこしましや・たくまし
やいまあらうそてねなましものを・いま
おりひいてあれらえこしひし

右圏點本書朱點ナリ共ニ寂蓮ノ書也

巻之上終

国立国会図書館　タイトル『結耗録 3巻』 請求記号 特1-2024
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『結珉録 3巻』　請求記号 特1-2024

ガラス使用